

第11回教育委員会定例会議事要録

詳細—教育部庶務課 電話03-3981-1141

附属機関又は会議体の名称		第11回教育委員会定例会議議事要録
事務局（担当）		教育部庶務課
開催日時		令和5年11月14日 午後13時30分
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	金子 智雄（教育長）、 樋口 郁代（教育長職務代理者）、酒井 朗、村瀬 愛、大澤 誠
	その他	教育部長、庶務課長、教育施策推進担当課長、学務課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長、図書館課長
	事務局	庶務課庶務グループ係長、庶務課庶務グループ係員
公開の可否		一部公開 傍聴人 1人
非公開・一部公開の場合は、その理由		報告事項第7・8号は、人事案件のため非公開とする。
次会議第		第39号議案 令和6年度 豊島区教育委員会教育目標及び基本方針について（庶務課） 協議事項第1号 池袋幼稚園付近の旅館業営業許可申請について（学校施設課） 協議事項第2号 令和5年度 小中学校の卒業式、幼稚園修了式の対応について（指導課） 報告事項第1号 令和4年度区立図書館事業報告について（図書館課） 報告事項第2号 令和5年三回定例会 決算特別委員会の報告について（庶務課） 報告事項第3号 令和5年度 教育委員会後援名義等使用の承認状況（第2四半期）について（庶務課） 報告事項第4号 第7回子どもスキップまつりの報告について（放課後対策課） 報告事項第5号 令和5年度運動会について（指導課） 報告事項第6号 令和4年度児童・生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について（指導課） 報告事項第7号 会計年度任用職員（学童指導員等）の配置について（放課後対策課） 報告事項第8号 会計年度任用職員（学級運営補助員）の退職について（教育センター）

休憩時間：00：00

終了時間：15：02

第11回教育委員会定例会議事要録

開催日 令和5年11月14日

開催場所 教育委員会室

事務局)

皆様、おそろいでございます。

本日傍聴の方、1名いらっしゃいます。

金子教育長)

それでは宜しく願いいたします。

第11回教育委員会定例会を始めさせていただきます。

初めに署名委員をお願い申し上げます。樋口委員、酒井委員、宜しく願いいたします。

次に、本日非公開による審議とさせていただく案件の確認をいたします。

報告事項の第7号及び第8号、会計年度任用職員の関係ですが、それぞれ個人情報を含むために非公開とさせていただきたいと思います。

それでは、2件については非公開とさせていただきます。宜しく願いいたします。

本日、傍聴1名ということでございます。宜しいでしょうか。

(委員全員了承)

金子教育長)

それではお入りください。

<傍聴人入場>

金子教育長)

議事に入ります。

(1) 第39号議案 令和6年度豊島区教育委員会教育目標及び基本方針について

金子教育長)

最初に第39号議案、令和6年度豊島区教育委員会教育目標及び基本方針につきまして、まず、ご説明をお願いいたします。

庶務課長。

<庶務課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明ありがとうございました。ご質問、ご意見ございましたらいただきたいと思いま

す。

若干事前に案をお示して、ご意見いただいたところについては、ある程度反映出来ていると思いますが、決定に当たりまして、細かい字句を含めてで結構でございます。何かございましたら、ご意見、あるいはご質問でも結構です。いかがでしょうか。

まず、教育目標について、変更なしということで、これは宜しいですか。

基本方針については、幾つか今ご説明のあった手直しを入れたいと思います。文書上、明確にするという趣旨だけのものもありますし、これは加えた方がいいのではないかとということで、より明確にしているという文章もございます。

宜しいですか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

事前に差し上げた意見を反映していただきまして、ありがとうございます。

なぜそのように題名から変えたのかというところもありますので、補足説明させていただきます。

金子教育長)

宜しくお願いいたします。

樋口委員)

例えば、2番ですが、「確かな学力の定着と豊かな個性を伸長する教育の推進」という見出しでございました。前から少しストンと落ちてこないところがあって、一人ひとりを大切にするというところと、個性というところの関わりが強いのではないかというようなお話もあったところでございます。

それを考えたときに、一人ひとりの力を伸ばしていくというところはもとよりですが、学力においても、それをさらに強めていかなければならないというところを大事にするので、やはり言葉としては残した方が良いのではないかと思います。

それから、国は新しい時代に必要となる資質・能力という表現をしています。例のトライアングル、三つの力です。新しい時代に必要となるという、国の表現をそのままここに差し込むと、新しい時代は、何のことを言っているのかと思われる方もいるかもしれないので、「子供たちに身に付けさせたい」という表現に変えてみました。ここは大きなところだと思います。

それから、今年度の前のところでは、ICTの書き方については、その前まではタブレットパソコンのところと、わざと二つ書いていましたが、もう一回、これ復活をした理由は、各学校の授業を拝見していると、道具としてのタブレットパソコンの活用がそんなに普及しているとは言えないところもあると思いました。来年度、もっともっと道具としての活用を強めていく必要があると思い、わざと入れ直してみました。何で行ったり来たりしているのかと思われる方もいるかもしれませんが、そのような思いがあります。

それから、不登校のところについては、事務局の方でわざわざ項立てをしてくださいま

したので、それを生かしていくとしたならば、やはり不登校になってしまう前の問題が大事であるので、子供たちの自己肯定感とか、自己有用感とか、ここにいて、この場所にいることに、自分で良いと思えるようなものをプラスして、肉づけをした次第です。

それから、最後の特色としては、全体を読んだときに、「組織力の向上」という言葉が全くないので組織とか、チーム学校という言葉も入れ込んでみたところ、そのような思いが私にはございましたので、そのようにさせていただきます。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。

酒井委員、どうぞ。

酒井委員)

文言を修正してくださって、ありがとうございます。特に、私の方から不登校のことで、少し強調した方が良いのではないかと発言させていただきまして、それを項立てで、1項で立てていただき、ありがとうございます。

これに基づいて、少し政策的に、重点的に取り組むということが出来ると思いますので、非常にありがたいと思いました。

全体的にやはり教育目標は年度ごとに少しずつ修正しながら適宜見直していくというのは非常に大事なことだと思いますので、こうした形で微調整しながら進んでいくということが非常に重要だと思っています。

金子教育長)

ありがとうございます。

それではこれをもちまして、教育目標、それから教育方針については策定をさせていただきたいと思います。宜しくお願いいたします。

(委員全員異議なし 第39号議案了承)

(2) 協議事項第1号 池袋幼稚園付近の旅館業営業許可申請について

金子教育長)

続きまして、協議事項の第1号に参ります。池袋幼稚園付近の旅館業の営業許可申請につきまして、ご説明をお願いいたします。

学校施設課長。

<学校施設課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

これは新規案件です。いかがでしょうか

特になければ、本件につきまして、協議を調ったということにさせていただきまして、適切に意見書を出していただければと思います。

ありがとうございます。

(委員全員異議なし 協議事項第1号了承)

(3) 協議事項第2号 令和5年度小中学校の卒業式、幼稚園修了式の対応について

金子教育長)

続きまして、協議事項の第2号です。令和5年度の小中学校の卒業式、幼稚園修了式の対応につきまして、ご説明をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

予定日も、前回も言っていましたか。

指導課長)

はい。

金子教育長)

1、4は前回と同様です。再度お出ししている理由は2と3について、内容を改めまして、ご提案をしているということでございます。

いかがでしょうか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

豊島区教育委員会として、これまで卒業式、入学式という、節目の最も大切なところを我々も関わりながら大切に迎えたり、送り出したりしてきたという、その意図をしっかりと認識をしていただき、我々としても、このことは大変重要な職務の一つであると捉えておりますので、それをご認識いただけたことをありがたく思っております。

金子教育長)

他にございますか。宜しいでしょうか。

では、これをもって、協議を調ったということにいたしたいと思います。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 協議事項第2号了承)

(4) 報告事項第1号 令和4年度区立図書館事業報告について

金子教育長)

続きまして、報告事項に参ります。報告が8件ございますが、まず、第1号、図書館課からです。令和4年度区立図書館事業報告につきまして、ご説明をお願いいたします。

図書館課長、お願いします。

<図書館課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

YAの中に中学生も入っていますか。割合が分かりませんから小学校は、まあまあです

が、一部にはいろいろな事業も行いまして、向上の兆しもあります。なかなか中学生がどうだろうという感じですか。それからコロナを経てということで、館には行きませんが、いわゆる予約で借りるというような形も増えているのかもしれませんが。様々な要素があると感じます。だんだんと見てまいりましたが、いかがでしょうか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

ご報告ありがとうございます。

2枚組のレジュメの3ページの貸出数のことについて、お聞かせください。学校がまとめて借りたいといって、貸し出す場面がありますが、この数字は、あのようなものも含めているのでしょうか。

金子教育長)

図書館課長。

図書館課長)

こちらは個人貸出しのみでございまして、団体貸出しの数字につきましては、別途抑えていまして、冊子の42ページに記載しています。

金子教育長)

個人貸出しのみ。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

私が理解出来てなくてすみません。そうすると、冊子の42ページの例えば区立小学校、3万1,762冊を区立小学校には貸し出したということですか。

図書館課長)

その通りです。

樋口委員)

一方、80万2,969冊というのは、個別に貸し出したものと捉えて宜しいですか。

金子教育長)

図書館課長。

図書館課長)

そうです。

金子教育長)

そうですということです。

樋口委員)

そうしますと、児童書は、確かに児童たちが足しげく通っているという、キャッチフレーズを「にぎやかな図書館」となさったと思いますが、やはり今ご指摘のと通りのヤングアダルト、YAたちのところをどのようにしたらいいのか。例えば、43ページを見ても、職場体験で、勉強、事前学習で勉強するというのは必ずやっているだろうと思いきや、学

校図書館にもあるからなのではないでしょうか。そのようなこともあります。あまりないとか、幾つか、YAに対する施策が必要だと、私も非常に思っております。例えば今年度協議会はありませんでしたが、皆さんの中でYAに対する、何かこういう手だてはどうだろうかとか、はっきりとした具体策まで言わなくてもいいので、そのようなものがあったら教えていただければと思います。

金子教育長)

検討しているようなことがありますか。

図書館課長。

図書館課長)

中高生世代は、読書から離れる時期と言われますが、こうしたことが統計的にも現れています。図書館としては児童サービスとして乳幼児から小学生に力を入れていて、おそらく23区も同様だと思います。

一方、いわゆるYAサービスとしては、中学校・高校、大学との連携が必要ということには認識していますが、かつて設置したYA専任グループが廃止され、現状は以前に比べると手薄になっているというところがございます。

職場体験、職場インタビューの実施、専用席の設置など行っておりますが、ビブリオバトルは行っておりませんし、YA世代が利用指定と思えるような図書館づくりが必要と考えています。

金子教育長)

宜しいですか。

樋口委員、どうぞ。

樋口委員)

今後、是非重点課題として、取り組んでいただけたらと存じます。

金子教育長)

他にございますか。

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

私もYAのところがとても落ち込んでいるので、驚いています。一つ教えていただきたいのですが、以前はヤングアダルトのグループの専門の方がいらした、今はいらっしゃらないということでしたか。

金子教育長)

図書館課長。

図書館課長)

組織としては「YAグループ」というグループがありましたが現在はなく、担当としては、大きく一般書担当、児童書担当があり、そのいずれかYA担当を兼ねるという形です。

金子教育長)

酒井委員。

酒井委員)

グループがあった、要するに、そのぐらいの年齢層の子供たちが興味を持てそうな、本の選び方が、前の方が良かったのではないかと思います、その辺はいかがですか。

金子教育長)

図書館課長。

図書館課長)

組織改正の経緯もありますが、図書館運営全体としてどちらのほうが効果的かは現状把握できていません。

酒井委員)

どちらが効果的かは分からないわけですね。

図書館課長)

選書自体は頑張っていますが。中高生の居場所としての図書館づくりを行う事例も増えており、本区の図書館も検討すべきと考えています。

金子教育長)

酒井委員。

酒井委員)

YA層が利用しにくいといいますか、そこでいろいろ調べものをしたり、勉強したりということが出来ないような環境になっているということですか。

金子教育長)

図書館課長。

図書館課長)

おっしゃるとおりです。本区の図書館では純粋な自習室は設置していませんし、インターネットも普及してきて、なかなか図書館に行くというきっかけが薄れてきているということがあります。

酒井委員)

分かりました。

金子教育長)

酒井委員。

酒井委員)

最後に一つお願いがあります。今例えば46ページ、冊子の46ページに出ているのは、ヤングアダルト図書の貸出冊数で、利用者が別にヤングアダルト層がどのぐらい借りているのかは、実は分からないです。要するに一般書も借りるわけですから。どちらかというと、こちらの登録者、各個別の子供たちが実際にどのぐらい図書を借りているのかということが大事だと思うので、それが統計で取れないでしょうか。もう一つは、出来れば、中学生と高校生は年齢的に分けてもらえると、こちらでも把握しやすいのですが、そこら辺は

難しいでしょうか。

金子教育長)

図書館課長。

図書館課長)

図書館システムの中で、様々なデータを収集しています。ヤングアダルトのデータもございます。

酒井委員)

そうですか。出来れば、それを出していただけると、利用状況が分かると思います。

金子教育長)

リアルな中学生の利用状況ですね。

酒井委員)

はい。

金子教育長)

学生向けの本の貸出ではなくてね。

酒井委員)

そうです。

金子教育長)

では、そこはご努力いただくということで、宜しく願いいたします。

他にございますか。

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

本はデジタルのものの集計はありますか。

金子教育長)

図書館課長。

図書館課長)

コンテンツ自体はございます。ただ、現状は、指定管理の自主事業になっておりまして、区の直営事業ではありませんので、区としてのデータはございません。

金子教育長)

宜しいでしょうか。

村瀬委員)

はい。

金子教育長)

電子図書については課題ということですね。いろいろなご意見がでました。

他にございますか。宜しいでしょうか。

最後に、私から簡単な質問。冊子ではなくて、紙の方の4ページ、最後のところにアンケートをやっていただいて、ありがとうございます。

結果のまとめというのはいつぐらいを予定しているか分かりますか。

どうぞ、図書館課長。

図書館課長)

たくさんの回答をいただいているため、年明けになるかと思います。

金子教育長)

年明けになるかもしれない。1月ぐらいということですか。

図書館課長)

1月の中旬ぐらいには、お出し出来ると思います。

金子教育長)

分かりました。

他にございますか。なければ、了解したいと思います。宜しいでしょうか。

いろいろとありがとうございました。それでは、本件、報告については了解をしたいと思います。いろいろとお願い事をしてしまいまして、宜しくお願いいたします。

(委員全員異議なし 報告事項第1号了承)

(5) 報告事項第2号 令和5年第三回定例会決算特別委員会の報告について

金子教育長)

それでは報告の第2号に参ります。令和5年第三回定例会決算特別委員会の報告につきまして、お願いします。

庶務課長。

<庶務課長 資料説明>

金子教育長)

説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

3ページ目のナンバー25のご質問のところですが、教えてください。質問は、「特別支援学校に在籍と特別支援教室の利用の数は」というご質問に対して、右のお答えの意味が分かりかねるので説明していただけるとありがたいと思います。

固定級に1,176人もいるはずがないので。

金子教育長)

教育センター所長。

教育センター所長)

申し訳ございません。これは、176人の誤りです。

金子教育長)

打ち間違えでしょうね。176人、538人で宜しいですか。

教育センター所長)

はい。

金子教育長)

質問も何か切れていますが、正しく質問を直すとどうなりますか。

教育センター所長。

教育センター所長)

特別支援学級に在籍している児童生徒数と特別支援教室を利用している児童生徒数はという質問でございます。

金子教育長)

それぞれを教えてください。176が在籍している。

教育センター所長)

固定学級に在籍している児童です。

金子教育長)

固定学級に在籍している。通級しているのは538人。

教育センター所長)

はい。

金子教育長)

ということですか。

教育センター所長)

はい。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

通級とは、特別支援学級に通級という意味ですか。

金子教育長)

教育センター所長。

教育センター所長)

こちらの特別支援教室を利用している児童生徒数でございます。こちらも通級指導学級という位置づけになっております。

金子教育長)

通級という言い方をするのですか。

教育センター所長)

すみません。質問した議員のお言葉など、そのまま書いてしまったようです。

金子教育長)

そうですか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

分かりました。では、正確に書かれた方が。「通級による指導学級」と、「特別支援教

室」とは正確には違います。そこも含めて、言っていらっしゃるのだらうと思います。言葉、是非選んでいただければと思います。

金子教育長)

他にございますか。宜しいでしょうか。

では、今の部分は分かりやすく、正確に、内容として正しく伝わるように、修正をさせていただきますと思います。

先程、口頭の中で青少年センターと言いましたが、中高生センターでよろしいですか。庶務課長)

中高生センターです。

金子教育長)

いろいろ細かいことが書いてありますので、お気づきの点がまた後程、後日ございましたら、ご指摘いただければと思います。

宜しくお願いいたします。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 報告事項第2号了承)

(6) 報告事項第3号 令和5年度教育委員会後援名義等使用の承認状況(第2四半期)について

金子教育長)

では、続きまして、報告事項第3号に参ります。令和5年度の教育委員会後援名義の使用の承認状況につきまして、ご報告をお願いいたします。

庶務課長。

<庶務課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

この不承認になった団体の名前というのはないですか。この承認されたところは、全部書いてありますか。

庶務課長)

5ページに記載しています。

村瀬委員)

分かりました。

金子教育長)

いかがでしょうか。ご確認いただいた上で、ご指摘の点があればお願いします。

村瀬委員。

村瀬委員)

このチアクラブですが、チアクラブの会社があるところが、区内ではなかったために、

区内でやるイベントですが、認められなかったということの認識で宜しいでしょうか。

金子教育長)

庶務課長。

庶務課長)

その通りでございます。ただ、区内の実績があるということであれば、承認する場合もございますが、この団体につきましては、今回初めて申請がされたというところで、これまで区内での活動実績がないということで、今回は不承認とさせていただいたところです。

金子教育長)

宜しいでしょうか。

村瀬委員)

経験が必要だということですね。

金子教育長)

では、次回はいいのかということですが。

他にございますか。宜しいですか。

特にございませんでしたら、この件については以上とさせていただきます。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 報告事項第3号了承)

(7) 報告事項第4号 第7回子どもスキップまつりの報告について

金子教育長)

続きまして、報告事項第4号ですね。第7回子どもスキップまつりの報告につきまして、ご説明をお願いします。

放課後対策課長。

<放課後対策課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

どうぞ、村瀬委員。

村瀬委員)

お疲れさまでした。スキップの職員の方たち、所長の方たちが皆さん、必死に頑張っている姿をすぐ横で見て、ご苦労さまですという思いでした。保護者の方たちにはとても好評でした。子供たちを身近で見られる機会があまりなかったということがありますので、近くで写真撮影なども出来て、とても良かったと聞いております。

2校続けてなので、やはり2校目の学校の方は一番前で写真を撮りたいのに、写真を撮らないのに前に座っている人たちに出来る事ならどいていただきたいという思いだったようです。センタースクエアはフラットなので、椅子が前に置いてあると、既にそこでビデオが撮れないという感じになります。自分より頭の上にカメラを置かないと難しいので、後ろの方にも迷惑となります。子供たちの準備もあるので、1校ずつでもいいのかと、私

は思いましたが、時間の取り方があるのでしょうかからいろいろ難しいと思います。

高3のジャンプの方たちが、とても上手にみんなとは違う感じの雰囲気で作ってくさっていて、それも良かったのではないかと思います。

もう少したくさんいろいろな人が出ると、もっと雰囲気が分かるのですが。見ていて面白いイベントでしたし、子供たちもハッピーな感じで良かったのではないかと思います。

展示についてはステージに出ているから展示がないという感じでした。全部のスキップで今、何をやっているのか。手話に力を入れているところと、ビーズの作成に力を入れているところなど、カラーが全然違うので、是非アピールするところを見たいので、先生方は大変になってしまうのですが、是非一校ずつ全部が展示されていると、嬉しいと思いました。

金子教育長)

どうぞ、放課後対策課長。

放課後対策課長)

スペースの問題などもありますが、全部展示出来るかどうかこの後反省会がありますので、しっかり話し合いたいと思います。

金子教育長)

他にございますか。

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

スキップまつり、初めての参加で申し訳ございません。

子供たちがとても元気に活躍していて、保護者の方が非常に喜んでいらっしゃるの良かったと思いました。今後のことということで少し思ったのは、どうしてもダンスが中心なので、女の子は活躍出来るのですが、男の子はやはりどうしても少なくなってしまう。何か男の子が活躍出来る場というのがあるといいと思いました。スキップには男の子がたくさんいるので、その子たちに何かないかなと思った次第です。

金子教育長)

ありがとうございます。

何かありますか。

放課後対策課長。

放課後対策課長)

放課後子ども教室の中から選んでいるので、確かに、ダンスのだしものが多いです。ただ、おっしゃるように、ダンス以外のいろいろな教室もありますし、来年度、今年度より放課後子ども教室が盛んになると、違うものを選べるかもしれません。けん玉をやるということでもいいですし、もう少し取り入れていきたいなと思います。

酒井委員)

ありがとうございます。

金子教育長)

今、課長が答弁した通りだと思います。私も、出し物は放課後子ども教室なので、スキップの日常というわけでもないという考え、かなり各学校での盛り上がり方だったり、何がやっているかというのがここでよく分かります。コロナ明けて、大分復活はしてきていますが、みんなダンスだなと私も感想として、持ちました。以前から、そんなにいろいろあったかという、あったような気もしますが、改めて、今お答えした通りなので、子ども教室がもっともっと盛んになるべきではないかと思っていますし、それは子どもレターなど見ていても感じるところであります。

職員も大変ではありますが、地域の方々のご参加にもよるところがあるので、是非、たくさん参加していただいて、お力を借りて、子供たちがいろいろなことが出来るように、もっと幅広くいくといいなと私も考えております。大事なことなので、言わせていただきました。

他にございますか。宜しいでしょうか。

会場選びは、以前の南池袋の体育館の方が確かに広いですから、いろいろと、その時期はやりようがあるのですが、やはりスクエアの特徴というのがあります。ふらっと来た方が、あるいは日曜の手续に来た方が寄れるということで周知の幅が広がるという面もあります。第1回目のことは、もう今の部課長も知らないと思いますが、大変なことでした。初めてやってみましたが、意外にたくさん来られて、入れなくなりましたので、入り口でもめまして、そのことで、たしか議会でも怒られたような覚えがございます。それ以来、きちんと整頓して出来るように工夫をして、ここに至るということでございます。

宜しいでしょうか。

ありがとうございました。

(委員全員異議なし 報告事項第4号了承)

(8) 報告事項第5号 令和5年度運動会について

金子教育長)

それでは、次へ参ります。報告事項の第5号、令和5年度の運動会の状況につきまして、ご報告をお願いします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

委員の皆様にも、何校かご覧いただきまして、ありがとうございました。私もこの秋、数校見られなかった学校もありましたが、ほぼ行ってまいりました。天気には恵まれました。最近、晴れ男力も落ちておりますが、運動会はパーフェクトでした。

いろいろな内容について、ご報告がありましたが、ご質問、ご意見宜しいですか。

私からの要望としては、せっかくここまでおまとめになるのであれば、可能ならば結構ですが、2番の学校の取組が確かにいろいろですね。行きましたので分かっておりますが、一緒に競技したという学校が何校あったかなとか、全校に一堂に会してからのパターンが何校でというのも分かるというのかなと思いました。

どちらが良いということではないと、私も思っています。説明も学校の先生方に聞きましたし、いろいろな考えがあって、そういう結果になっています。大事なものは、最後に課長がご報告された通りで、何にしても説明があるということが大事だと各会場に行きまして、私も思いました。ご意見はいろいろあるかと思いますが、いろいろな事情で、そのようにしているということだと思います。

ただ、全体として、どのぐらいの割合が午前午後に分けているのかとか、学年ごとに分けているのかというのは今回で終わりではないので、来年以降も運動会は、続いていきますから押さえておいてもいいと思った次第です。

あまり大変でしたら、結構ですが、せっかく皆さん手分けしてやっていらっしゃるの、結果について、メモをしていけば、理解も良いかと思いました。

他にございますか。宜しいですか。

では、ご報告ありがとうございました。これについては、了解をいたしました。

(委員全員異議なし 報告事項第5号了承)

(9) 報告事項第6号 令和4年度児童・生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果について

金子教育長)

次に、報告事項第6号でございます。令和4年度の児童・生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する問題結果、問行調査について、ご報告をお願いいたします。

指導課長。

<指導課長 資料説明>

金子教育長)

宜しいですか。ご説明終わりました。ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

どうぞ、酒井委員。

酒井委員)

詳しいご説明ありがとうございます。一つは、非常に細かいことですが、1枚目の一番最後が何か文字が抜けていますか。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

「る」が抜けております。

酒井委員)

「る」が抜けているのですね。分かりました。

指導課長)

申し訳ございません。

金子教育長)

宜しいですか。

酒井委員)

はい、分かりました。

金子教育長)

酒井委員。

酒井委員)

特に不登校が非常に増えているという状況で、小学校は逆に、都は35%増加、区は8%増で非常に少なかった。増え方が少なかったのは良いのですが、その理由も考えなければいけません。中学校の方が非常に増えています。これが、今回の教育方針の方でも特出しで取り上げているところになると思います。区の実組のところで、文言には「学校復帰を目指すとともに」という言い方ですが、目標の方は「個々の状況に応じた改善に向けた取組を多面的、多角的に推進する」という言い方になっています。今はおそらく、あまり本格的には学校復帰を第一にしないといいますが、そこを強調する形ではない取組の仕方になっていまして、教育方針の方もこのように書いてありますので、ここを合わせた方がいいのではないかと思います。

金子教育長)

どうぞ、指導課長。

指導課長)

先生がおっしゃる通り、不登校児童生徒の学校復帰のみならず、いろいろな方策があるかと思われますので、ここは修正していかなければいけないと思います。

酒井委員)

ありがとうございます。

金子教育長)

そうですね。

今のようなご意見も含んだ、先程の指針の方は改定になっていくかと思います。

酒井委員)

そうですね。

金子教育長)

ご指摘ありがとうございます。

他にございますか。

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

まとめていただきまして、ありがとうございます。

ご指摘のとおり課題が顕著に分かっております。小学校はもともと低いので、小学校の８％が低いとは私は思っていません。「８％も増えているの」と、私は捉えたところがあります。これまでと全然違います。

質問一点目は、区のいじめ、不登校の問題対策委員会で、例えば「いじめ防止取組連携推進【デジタル版】」というのはどんなものなのかと思っています。例えば、このような場合はこのようなところに関係するというような説明が欲しいです。何か機会があるときに、お願いします。以前に、説明があったのでしたらすみません。

もう一点は、今後の対応をこのように考えるというところがとても大事なところでありまして、結局は各学校が一人ひとりに対して、どう当たっているかという事が課題になると同時に、いつも言うとおり、このような土壌を生まない風土づくりというのが最も大事なことであります。例えば、子供たちお互い、もしくは教員と子供が互いを認め合い、尊重し合うような風土の醸成をどうしていくかということへの取組も今後大切にしていってももちろん、今もやってくださっているのです、そこを分厚くしていただけるといいと思います。

そのようになっている子に対して、居場所をつくるなど、それはもちろん大事なことですが、そうならないための、もっと根本的なところに、私は力を入れるべきだと思っていますので、是非そのようなことも各学校に対して、強調していただけるとありがたいと思います。

金子教育長)

指導課長。

指導課長)

まず、「いじめ防止取組連携推進【デジタル版】」、それから「不登校対策連携推進【デジタル版】」に関しましては、タブレットをお持ちして、春にお見せしたところです。

これは、学校でも見せたり、資料で使いますが、名前と内容が一致しないといったところもあります。最初、「連携フレーム」と言っていましたが、「フレームって何」というところで、名前が定着していないということがあるので、認識されるように、私たちもところどころで使っていきたいと思っています。

次に、いろいろな取組に関してですが、樋口委員のおっしゃる通りで、何か対症療法ではないですが、何かするためにこれやっていますではなくて、そもそもの学校の在り方、学校がある意味というところに言及していただいたように思います。

是非、令和６年度の教育課程の生活のところにそのような文言を入れて、学校が意識出来るようにしていきたいと思っています。

金子教育長)

どうぞ、樋口委員。

樋口委員)

私の認識がなくて、申し訳ございませんでした。

子供たちの登下校に遭う場面が、時々あります。その様子を見ていると、嫌がっている

にもかかわらず、下校中に突っつき合っていて、つい、声をかけたときもあります。子供たちの心を、やはり何度も何度も醸成していく必要があるとつくづく思っているものですから、意見を申し上げました。

金子教育長)

ありがとうございます。

他にございますか。宜しいでしょうか。

デジタル版はいつでもご覧になれますが、私から一言言わせていただくと、良いものを作ってもらって、使って、先程の発言の中でS S Wについて、利用が増えました。これは、人員を強化したせいでもあるとは思っていますが、そのような変化がほしいです。今後は、せっかく良いものが出来ましたので、そのようなものを使って、どのようなセンターだとか、いろいろなことが出てきます。どういうところと、どのぐらい頻度が上がったかとか、上がればいいということではないですが、ただ、これが出来て良かったと思うように思うためにも、実績といたしますか、それについて、すぐに取り出すことは難しいと思うので、取り方についてもご検討いただくと良いかと思えます。

なるべく、顔の見える関係で民生委員とも、各センターとも関係が出来ていることが一番良いことかと思えます。予防の段階で相談が出来るということが一番望まれていることではないかと私は思っておりますので、その点、宜しくお願いいたします。

それから、小学校、中学校の数字について、いろいろご意見いただきました。貴重なご意見だと思っております。私も、小学校について、樂觀視しておりません。もともととても少なく、一人、二人だったりするので、校長室で遊ばせて、たまに来るような感じでした。落ち着かない子などの対処の仕方をこれまでは校長先生も、副校長先生もしてきました。そのような、牧歌的な対応の感じでしたが、それ以上になってきているので、かなり、いろいろと状況が現れているというように思います。

数字は8ですが、これまでとは違うというのは明かです。学校周りをしたときに先生方からお聞きしておりますので、どのように認識したらいいかということ自体が、小学校の方では、あまり今まで問題になっていませんでした。少しレクチャーが必要かなという気もしております。

中学校はとにかく数字が高いので、全面的に対応していかなければいけないと思っております。

宜しいでしょうか。

それでは、本件については了解をいたしました。ありがとうございます。

(委員全員異議なし 報告事項第6号了承)

金子教育長)

それでは、非公開の事項になりますので、宜しくお願いいたします。ありがとうございます。

<傍聴者退場>

(10) 報告事項第7号 会計年度任用職員(学童指導員等)について

金子教育長)

それでは、報告事項7号へ参ります。会計年度任用職員(学童指導員等)の配置につきまして、ご報告をお願いします。

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第7号了承)

(11) 報告事項第8号 会計年度任用職員(学級運営補助員)の退職について

金子教育長)

続きまして、報告事項の第8号へ参ります。会計年度、こちらも任用職員の、学級運営補助員の退職につきまして、ご報告をお願いします。

人事案件のため非公開

(委員全員異議なし 報告事項第8号了承)

金子教育長)

それでは、予定していた案件は以上でございます。

これにて、第11回の教育委員会定例会閉めさせていただきます。ありがとうございました。

(午後15時02分 閉会)